



学校だより 10月号

横浜市立日下小学校 令和4年 9月30日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

折り返し地点を迎えて

校長 皆川 誠

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、朝晩はとても過ごしやすい気候になってまいりました。

近年、「記録的な・・・」とか「観測が始まって以来の・・・」というニュースをよく耳にするようになり、異常気象と言われるものが異常ではなくなりつつあるような気がします。特に今年は、日本では水害、ヨーロッパでは干ばつというように、世界各地で災害が多発しているようで、自然の脅威を感じています。

学校では、避難訓練や日常生活の中で、「いざ」という時に備えた行動について、子どもたちに指導をしております。9月は、「防災の日」に合わせて、緊急地震速報受信後、震度6強の大きな地震が発生したという想定で、総合防災訓練を行いました。ご家庭においても、緊急時の連絡先や災害時の備蓄品等について、まずは自助の視点から、お子さんと一緒に確認していただけたらと思います。

さて、新年度のスタートから半年が過ぎました。入学直後は緊張気味に過ごしていた1年生の子どもたちも、学習や行事の積み重ねによって、今では日下小学校の一員として、日々の学校生活に溶け込んでいることに気が付きます。1年生に限らず、2年生から6年生にとっても、年度初めや夏休み明けの9月は、新たな環境に適応したり、生活のリズムを取り戻したりするのに苦慮する傾向があります。そのような中で、日常の学校の生活を落ち着いて過ごすことができているのは、それぞれのご家庭での励ましや工夫があったからです。心より感謝申し上げます。

そのような中、5年生は、9月6、7日に、御殿場宿泊体験学習に行ってきました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で宿泊体験学習を実施することができておらず、小学校生活最初の宿泊となりました。コロナ禍でまだ制限も多い中でしたが、子どもたちは約束をよく守り、教師の話もよく聞いて、安全に行動することができました。宿泊所の「青少年交流の家」の方には、気持ちのよい挨拶をはじめ、集団としての節度ある行動をたくさん褒めていただきました。仲間とともによい思い出をつくることができたと思います。

10月は、前期と後期の節目に当たり、7日で前期が終了し、3連休の後、11日から後期が始まります。前期の終わりにあたり、各担任から「あゆみ」が手渡されます。子どもたちはドキドキしながら「あゆみ」を持ち帰ると思います。頑張ったことは大いに褒め、課題となる部分がありましたら温かな励ましの言葉をかけ、後期に向けた意欲を高めてもらえたらと思います。後期も、よろしく願いいたします。